

オーナー様・航空会社様向け

航空機への積み込み・運搬について

e-SNEAKER (T310P)

ダイハツ工業株式会社

2026年6月

はじめに

【オーナー様】

航空機搭乗が決まりましたら必ず以下をご対応ください。

1. 航空会社に事前連絡

航空機搭乗が決まりましたら電動車いすをご利用されていることを事前に航空会社に連絡。e-SNEAKERの仕様(サイズ、重量、バッテリーの種類等)をお伝えして航空会社の指示に従ってください。

2. お渡し前の確認

当日、航空会社にお引渡しの際は、仕様(サイズ、重量、バッテリーの種類等)について航空会社から確認が求められますので、本資料を手元においてお話しください。

3. お渡し方法

バッテリーを装着したままキースイッチ、電源スイッチをオフにしてお渡しください。
手押しで移動するときは、【各種情報】〈手押しで移動するとき〉をご参照ください。

【航空会社様】

e-SNEAKERに関わる情報を集約しております。

詳しくは次ページより始まる【各種情報】をご参照ください。

【ご参考】

- ・国土交通省ホームページ「機内持込・お預け手荷物における危険物について」
https://www.mlit.go.jp/koku/koku_fr2_000007.html
- ・国土交通省ホームページ「電動車椅子で航空機を御利用される場合のルールについて」
<https://www.mlit.go.jp/common/001388684.pdf>

【各種情報】

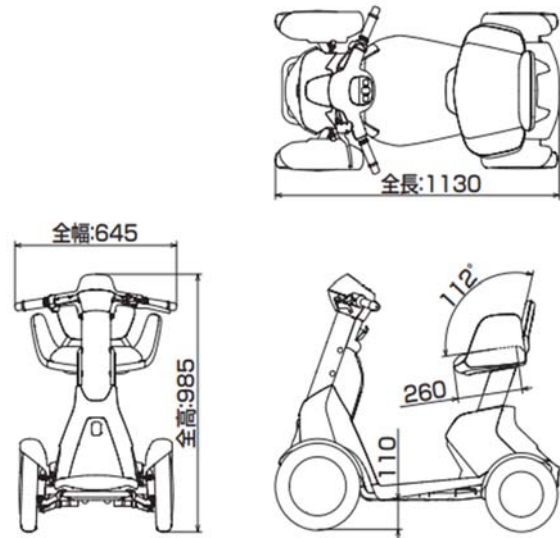
＜本体サイズ / 重量＞

- ・ 全長：1130mm
- ・ 全幅：645mm
- ・ 全高：985mm

※オプション装着により

寸法や重量が変更されている場合は、
変更後の数値が必要です。

- ・ 重量：64kg（バッテリー含む）



＜バッテリー種類 / 仕様＞

- ・ 品番 : G9300-B8010
- ・ バッテリー型式 : BT0-074B
- ・ 種類 : リチウムイオン
- ・ 重量 : 約2.3kg
- ・ 電圧 : 25.2V
- ・ 定格容量 : 13.2Ah
- ・ 電力量 : 336Wh

※バッテリー本体ラベルに
電池総電力量336Wh表示があります。

バッテリー本体ラベル



バッテリー型式 記載位置

ASSEMBLED IN TAIWAN BT0-074B

＜バッテリー種類 / 仕様＞

- ・ 品番 : G9300-B8030
- ・ バッテリー型式 : BT0-074C
- ・ 種類 : リチウムイオン
- ・ 重量 : 約2.3kg
- ・ 電圧 : 25.2V
- ・ 定格容量 : 10.24Ah
- ・ 電力量 : 258.04Wh

※バッテリー本体ラベルに
電池総電力量258.04Wh表示があります。

バッテリー本体ラベル



バッテリー型式 記載位置

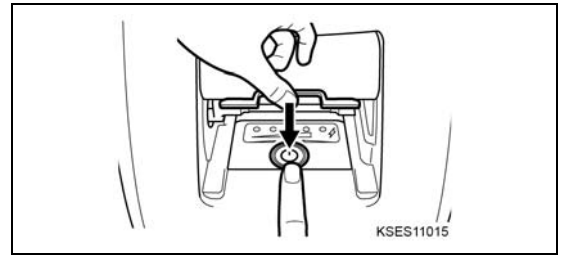
ASSEMBLED IN TAIWAN BT0-074C

<電源のON/OFF>

1. 電源を入れる

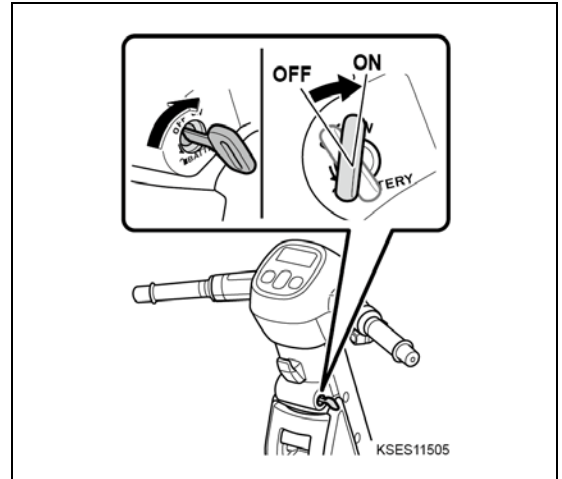
(1) 電源スイッチをONにする

電源スイッチを約1秒押し続けてください。
ディスプレイ部へのメッセージ表示とともにバッテリー電源押下ブザーが鳴り、残量表示パネルのLEDが点灯します。



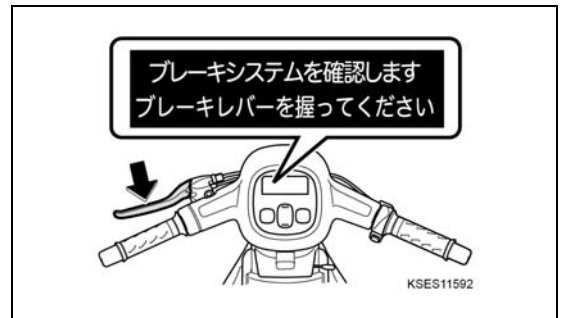
(2) キースイッチを“ON”にする

キースイッチを“ON”の位置に回してください。



(3) ブレーキレバーを握る

起動音が鳴ったあと、ブザーが鳴るとともに、ディスプレイ部に「ブレーキレバーを握ってください」と表示されます。ブレーキレバーを握るとディスプレイ部が走行時の表示になり、モビリティが走行できるようになります。



2. 電源を切る

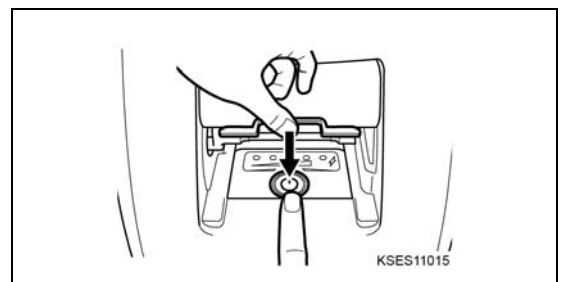
(1) キースイッチを“OFF”にする

キースイッチを“OFF”の位置に回してください。
停止音が鳴るとともにディスプレイ部にメッセージを表示します。



(2) 電源スイッチをOFFにする

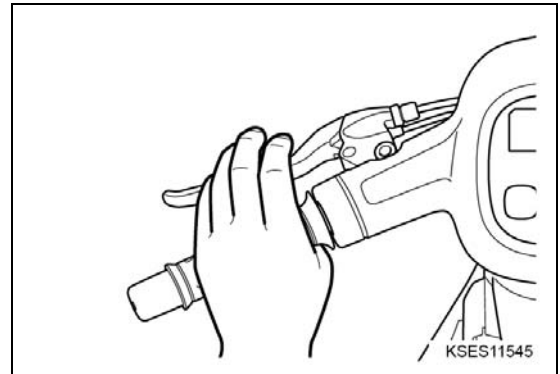
電源スイッチを約1秒押し続け、ディスプレイ部のメッセージ表示および残量表示パネルのLEDが消えたことを確認してください。



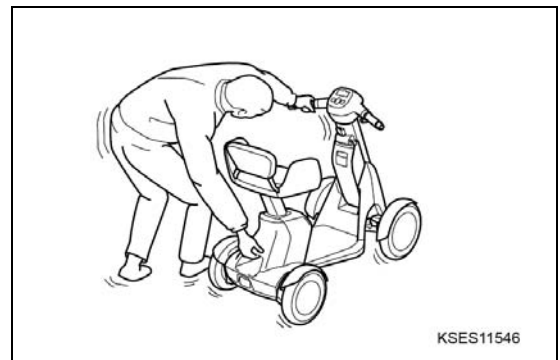
<手押しで移動するとき>

1. モビリティを手押しで移動する

- (1) モビリティを手押しで移動するときは、モビリティから降りてください。
介助をする場合でも、搭乗者は降車し、人が乗っていない状態で手押し移動を行います。
- (2) モビリティを完全に停止させてください。
- (3) ブレーキをかけられるように、ブレーキレバーに手を添えてください。



- (4) ハンドルを持ち、手押しスイッチを押しながら、モビリティを押して移動してください。
- (5) 安全な場所に移動したら、モビリティを駐車してください。

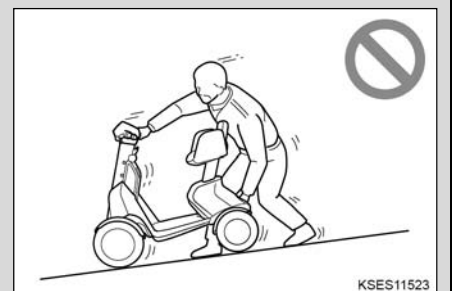


<知識>

- 電源スイッチがON、かつキースイッチが“ON”の状態の手押しスイッチを押している間だけ手押しで移動できます。（手押し状態ではブザー音が吹鳴し、ディスプレイ部に「手押し状態です 走行できません」と表示されます。）
- バッテリーが長期放置などで放電すると、手押しモードで手押しできなくなるおそれがあります。
- 手押し状態で一定以上の車速を超えると、安全のためブレーキが掛かります。

<警告>

- 坂道では手押しをしないでください。
モビリティが動き出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。



<注意>

- 手押しスイッチがOFFの状態での手押しはしないでください。モビリティが破損するおそれがあります。
- モビリティを移動するときは持ち上げ部（前・後）で持ち上げてください。
- モビリティをけん引、被けん引しないでください。モビリティが破損するおそれがあります。

<運搬するとき>

1. モビリティの押し方

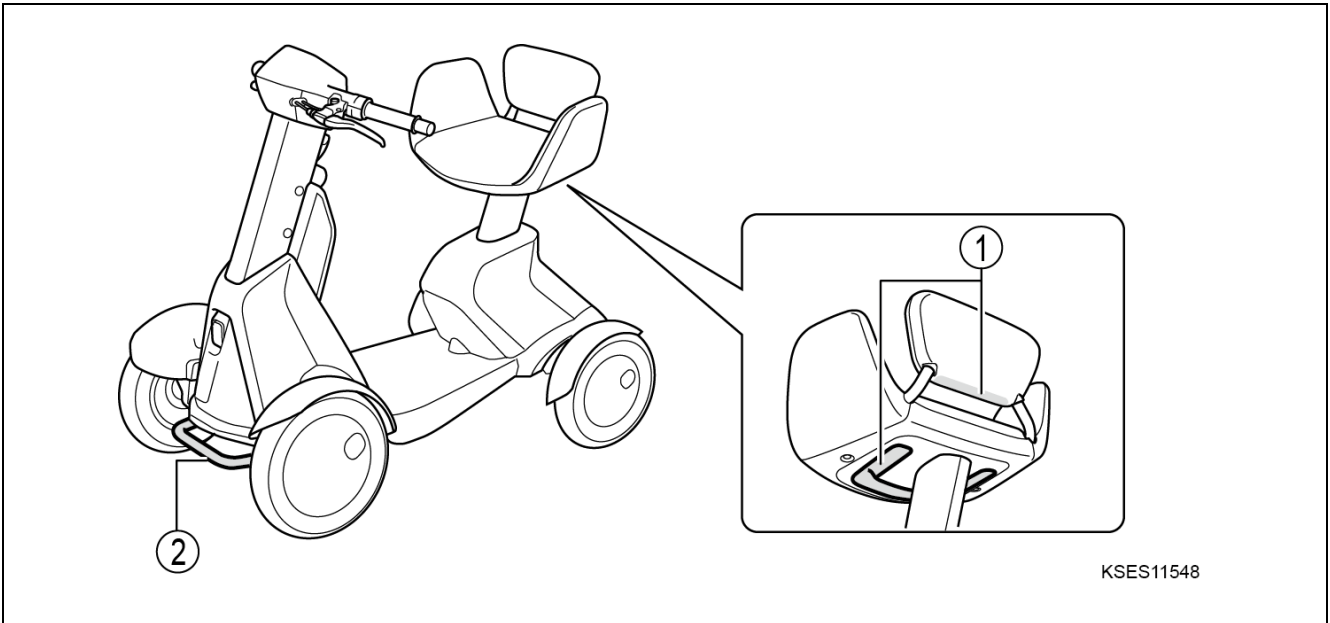
(1) <手押しで移動するとき>の手順に従って押してください。

<警告>

- 降車した状態でスロットルを操作して移動させないでください。
転倒や衝突、けがなど思わぬ事故のおそれがあります。

2. モビリティの持ち上げ方

(1) 電源スイッチをOFFにして、次の安全に持ち上げられる箇所を持って運んでください。



KSES11548

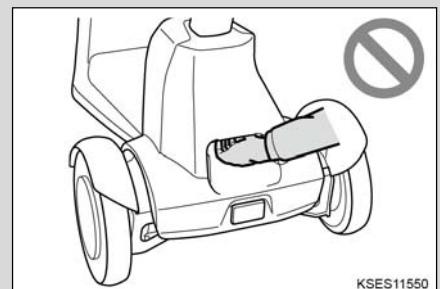
- ① 持ち上げ部(後)
- ② 持ち上げ部(前)

<警告>

- 電源を切って走行できない状態であることを確認してから持ち上げてください。
- 持ち上げる際は、必ず2人以上で作業してください。
- けがをするおそれがあるため、運搬する際は軍手などを使用してください。
- モビリティに人が乗ったままの状態、モビリティを持ち上げないでください。
モビリティが破損したり、乗っている人が転落したりして思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 持ち上げ部(前・後)以外の箇所を持って持ち上げないでください。
特に手押しスイッチ部・ディスプレイ部の周辺は故障しやすいため、持ち上げないでください。
また、指定箇所以外で持ち上げるとモビリティが破損して落下し、思わぬ事故につながる原因になります。



KSES11549



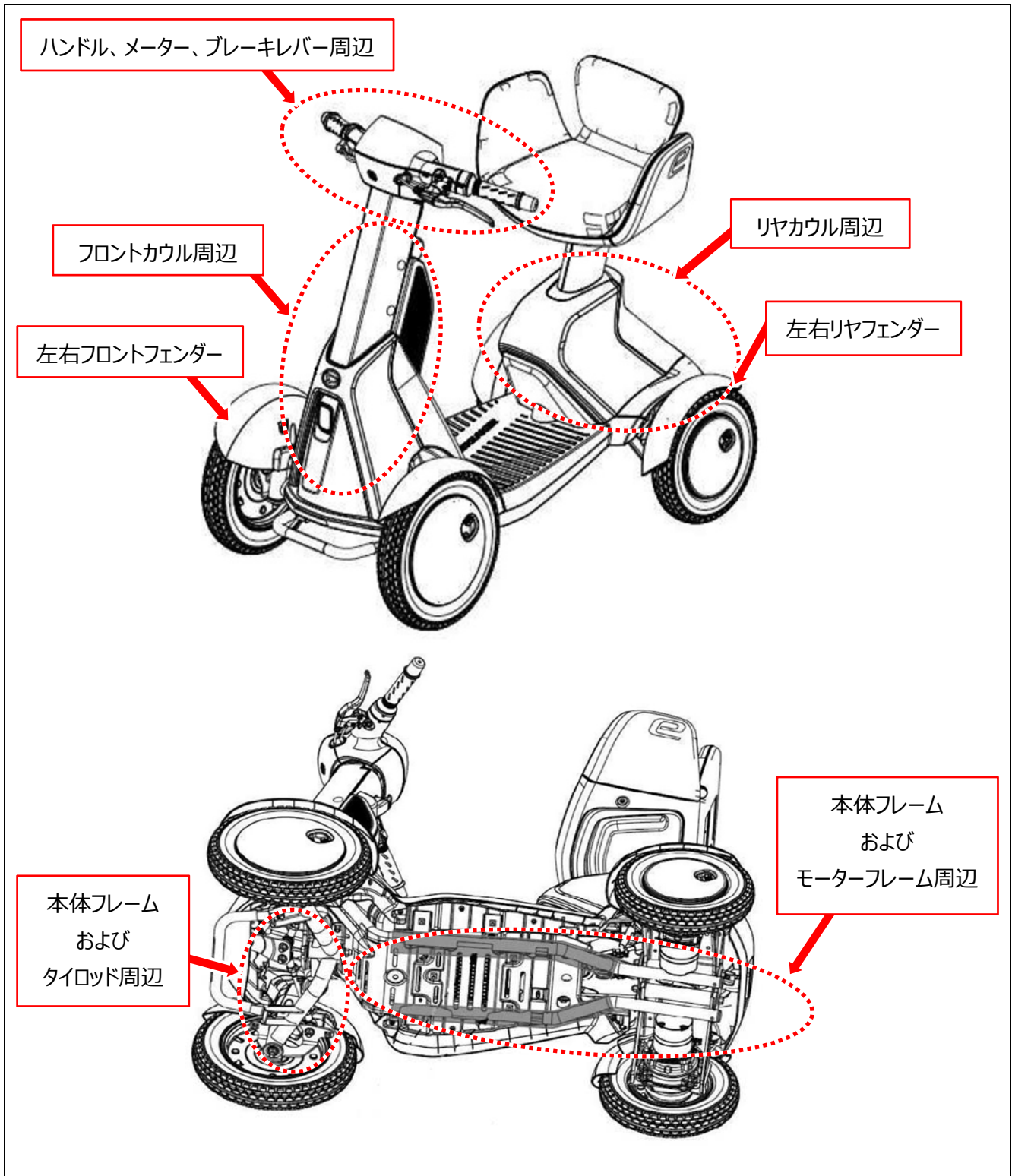
KSES11550

<モビリティの固縛>

1. 車両積載における注意事項

- (1) 運搬車室内へ搭載後、必ず電源スイッチをOFFにすること。
- (2) 固縛部は傷つき防止のためにウエスなどの保護材をまくこと。
- (3) 固縛後、確実に固定されていることを確認すること。
- (4) 破損防止のため下図の部位へは固縛しないこと。

2. 固縛禁止箇所

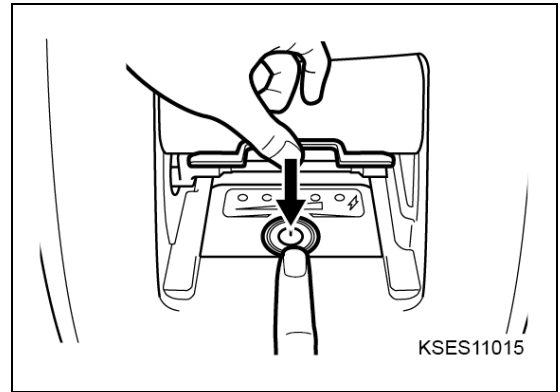


<バッテリーの取り外し / 取り付け>

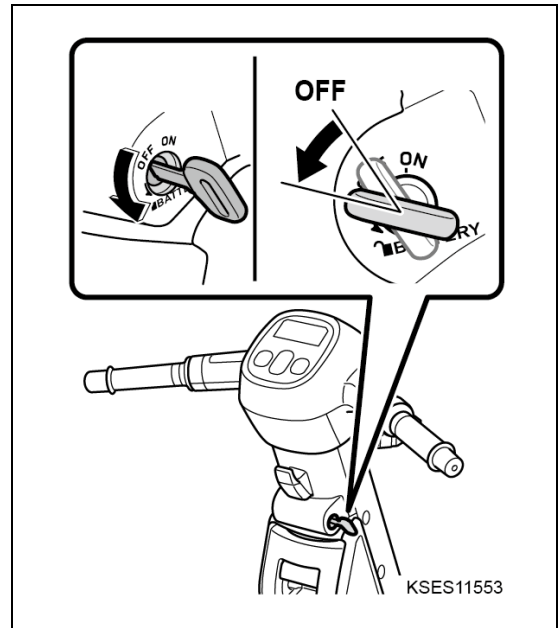
1. バッテリーを取り外す

- (1) キースイッチが“ON”のときは、キースイッチを“OFF”にし、しばらくしてから電源スイッチをOFFにする。

電源スイッチを約1秒押し続け、ディスプレイ部のメッセージ表示および残量表示パネルのLEDが消えたことを確認してください。



- (2) キースイッチを“OFF”の位置からさらに回して保持し、ロックを解除する。



- (3) (2)の状態では、バッテリーレバーを引き上げてバッテリーを手前に倒し、引き抜く。



<注意>

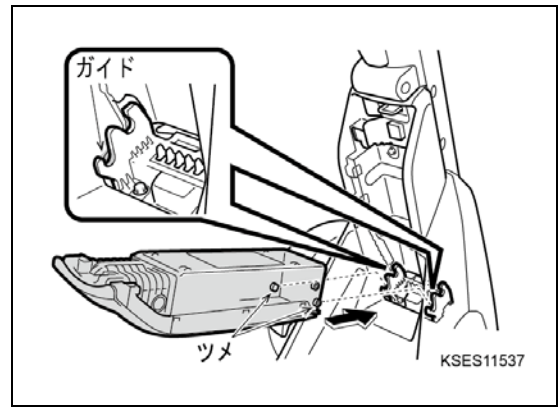
- バッテリーを取り外す際は、必ずキースイッチを操作してロックを解除してください。モビリティが破損するおそれがあります。

2. バッテリーを取り付ける

- (1) モビリティ側のガイドにバッテリー下部のツメを合わせながら、ゆっくりとバッテリーを挿し込む。

バッテリーの背面が見える程度傾けて、下部のツメを合わせてください。

傾きが浅いと位置が合わせにくくなる場合があります。



- (2) バッテリーの上部を、“カチッ”と音がするまで押し込み、バッテリーをロックする。



<警告>

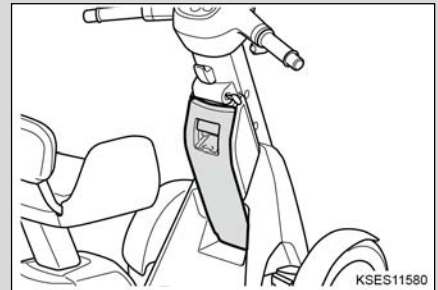
- 取り付け後は、バッテリーが確実に固定されていることを確認してください。

また、確実に固定されていることを確認する前に電源スイッチを押さないでください。

確実に固定されていないと、走行中にバッテリーが外れて落下し、けがをすることがあります。

- バッテリー接続部を触れたり、濡らしたり、金属などの異物を近づけたりしないでください。けがをしたり、バッテリーの故障などの原因になることがあります。

- バッテリーを取り付けるときに、指などをはさまないようにしてください。指のけがや、バッテリーの故障などの原因になることがあります。



<注意>

- モビリティのバッテリー取り付け部分がぬれていないことを確認してください。ぬれているときは、乾いた布でふき取ってからバッテリーを取り付けてください。

ダイハツ工業株式会社